

2025年度 7 月 事業部会

7月 3日(木) (16:00 ~ 17:00)

執行部		ブロック長		研修	主マネ		包括	
会長	近藤真由美	A	太田浩司	土屋敦	質の向上	相原仁美	本町	佐藤雅美
副会長	二宮真由美	B	辻浦瞳	古見陽子	業務効率	上田友則	大根	栗原則子
副会長	荒木健二	C	平塚良成	鶴田美和	地域 同行型	向口祐子	鶴巻	梅下幸俊
会計	小島由香	D	塩澤幸恵	大野悦子	社会 課題検討	安藤司	南	草柳由里子
書記	横溝一浩	E	海野敬太郎	諸星勝也	地域参加	瀧島徳秀	西	戸次美恵
相談役	—	F	藤田卓也	小林則子	包括主任 ケアマネ	齋藤真理	東・北	神戸佳一
							渋沢	吉田由美子

会長：6月30日実施のスーパービジョン研修お疲れさまでした。

市役所：特になし

Aブロック：6月12日に堀川公民館でパピブ脳トレの勉強会。次回は8月14日に事例検討。

Bブロック：6月11日に本町公民館で事例検討(居宅) 次回は8月12日に防犯についての勉強会。

Cブロック：6月13日に本町公民館で事例検討(包括) 次回は8が8日に小規模多機能型居宅についての勉強会。

Dブロック：6月25日に北公民館で防災についての勉強会。次回は8月20日にクーリングオフについての勉強会。

Eブロック：6月は事例検討(包括) 次回は8月8日に暑気払い(交流)

Fブロック：6月19日に保健福祉センターで若年性認知症の勉強会。次回は事例検討(包括)

研修：①第2回ケアプラン研修：8月1日本町公民館で秦野病院笠原院長の講演。2週間くらい前から電子申請。

②第4回ケアプラン研修：11月に在宅医療と合同開催の予定。次回は7月23日に会議の予定。

質の向上：6月24日に会議を開催。リハビリについてのガイドを作成中。次回は7月23日に会議予定。

業務効率：7月に会議の予定。

地域同行型：6月30日にスーパービジョン研修を実施。アンケートは7月7日締め切り。7月23日に会議予定。

地域同行型研修の対象者を募集する。(主マネ更新研修の更新要件となる)

研修の対象となる方には部会のメンバーから連絡する事があります。ご協力をください。

社会課題検討：6月は10月か12月に行う防災研修について打ち合わせ。秦野市の防災計画について。

7月は秦野市防災課と打ち合わせ。高齢者が被災した場合についてを検討中。

地域参加：ハッピーライフ実行委員会に参加。(6月12日、26日)10月26日富士見斎場で開催予定。

11月3日の秦野市市民の日も参加する予定(7月31日に打ち合わせ予定)。

内容が深まりしだい、当日のお手伝いを居宅や包括の職員さんにも協力をお願いする事もあります。

包括主任ケアマネ：ケアマネジャー向けのアンケート実施中。事業所ではなく、個人単位での回答をお願いします。

次回は事業部の前に会議を開催予定。

本町：近隣住民からの通報ケースが増えている(高齢者支援センターが住民に浸透していると感じている。)内容は高齢者の相談やそうじゃないものもある状況。心の健康相談(保健所)が連絡つかない事が増えている。

大根：7月18日に広畑プラザでポッチャを開催。新規相談が多く、複合的な課題がほとんど。①体調不良で救急要請のケース。②警察介入で他県の住所を持っている。ヤクルトが2週間くらい溜まっている。

鶴巻：あじさいの丘で認知症カフェを開催。サマリヤマンションでさわやか体操。地域拠点が増えている。

6月26日に鶴巻公民館で認知症サポーター養成講座を実施できた。

南:①虐待を受けて逃げてきたケース。市役所には匿名として相談。今介護している人が虐待をしなければいいなというレベル②8050世帯で母は認知症、子は精神疾患がある。会議中にちょうど徘徊の放送が…

西:①9月2日に堀川公民館でケアマネジャーと民生委員との交流会を計画中。②防災講習会を実施できた。自治会に入っていない人は避難者カードで確認をする。

東・北:要支援から要介護になるケースが多かった。知人が相談に来る事があり、支援センターに認知度がUPしている。
①8050世帯で親がなくなり、子だけになった世帯。②民生委員を中心にサロンの立ち上げをする相談。(自治会の長寿会が解散しているエリア)

渋沢:①精神疾患がある方が要介護になるケース②いどり訪看が第3金に講習会(次回は7月18日 テーマは熱中症かも?) 現役の看護師さんと民生委員や自治会長と話し合う会となっている。

二宮副会長より:情報共有。西大竹エリアで移送サービスをよそった詐欺。福祉輸送のビラのようなものポストへ投函。許可番号は、39丹沢さんのものであるが、電話番号は全くの詐欺番号。

近藤会長より:担当ケアマネジャーが認定調査をすることによる利用者等とのトラブル(クレーム)があった。要介護度が変わることで、利用者・家族からクレームとなる。秦野市は自分で認定調査を行うが、問題となっている。他市では、自分で行わない事ができる。現状、介護度がさがる割合のランキングで神奈川県全体でワーストレベル。利用者等も要介護度が変ることへの変なイメージが浸透している。

荒木副会長より:衣笠先生のスーパービジョン研修について意見交換。「訪看や訪問診療がガンガンいくことでケアマネジャーが自信をなくしてしまい、衣笠先生がケアマネジャーの相談を受けた事例であった。ケアマネジャーの更新研修がケースの検討となりがちで、後輩ケアマネジャーへの指導についてなどがない状況。参加できなかった方や参加者から好評であるため、第2弾へと進めていけるかは検討する。

次回は8月7日(木) 16時から